

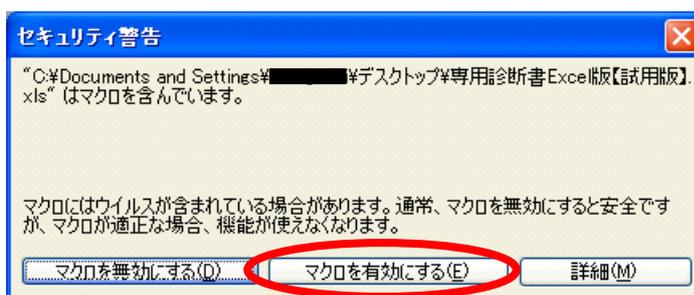
◆◆マクロの設定変更について◆◆

< 専用診断書（補償認定請求用）Excel 版 >

「専用診断書（補償認定請求用）Excel 版」には、効率的にご作成いただけるよう、「一括印刷ボタン」等にマクロ（予め指定した動作を自動的に行う機能）を使用しておりますが、ご使用にあたっては Excel のマクロ設定を有効にさせていただく必要がございます。

ご使用のコンピュータ上の Excel におけるマクロのセキュリティレベルがどのように設定されているかによって対応方法が異なりますので、以下をご参照ください。

【1】以下のような「セキュリティ警告」が表示された場合



 この場合、「マクロを有効にする」を選択し、そのまま診断書の作成を進めてください。

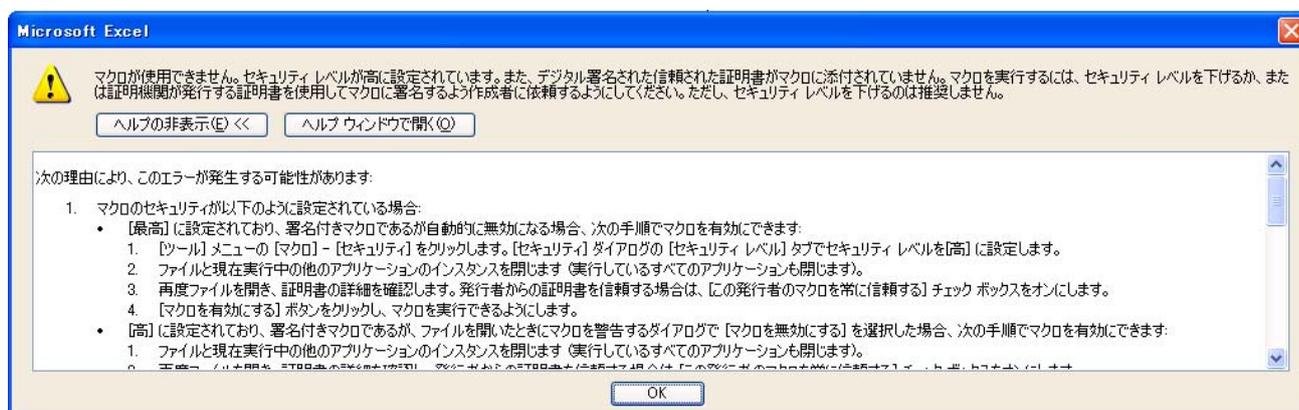
※ なお、診断書の作成を中断された場合、ファイルを開くたびに同様のメッセージが表示されますが、毎回、「マクロを有効にする」を選択してください。

【2】以下<<A>><>いずれかメッセージが表示された場合、または何も表示されない場合

<<A>>



<>



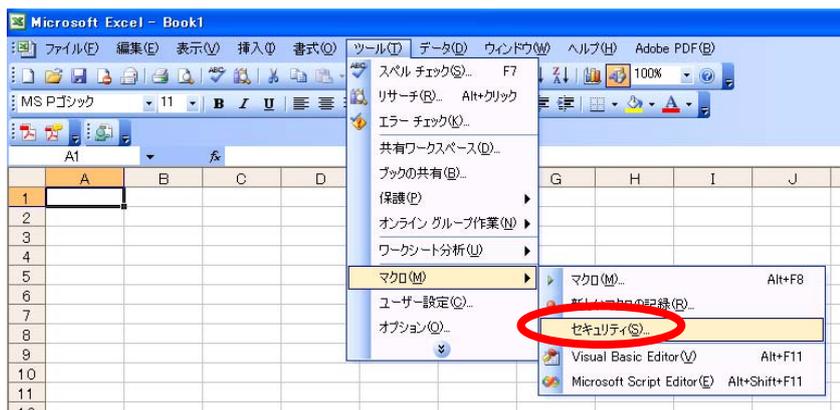
《C》何もメッセージが表示されない場合

→ セキュリティレベルが「低」（または「最高」）の場合が考えられます。「低」の場合は、そのまま診断書の作成を進めることができますが、「最高」の場合は設定の変更が必要です。

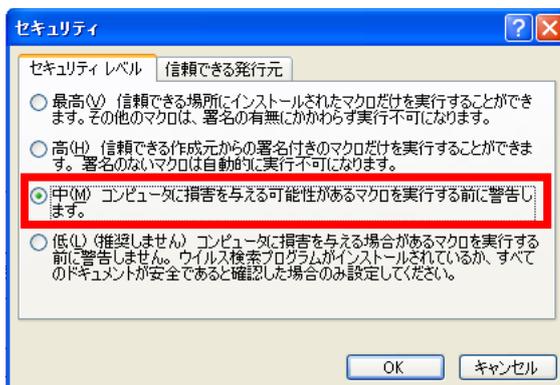
 上記いずれかの場合、マクロのセキュリティレベルを変更する必要があります。以下の手順に沿って設定を行ってください。

＜セキュリティレベルの変更方法＞

1. [ツール] メニューの [マクロ] を選択し、[セキュリティ] をクリックします。

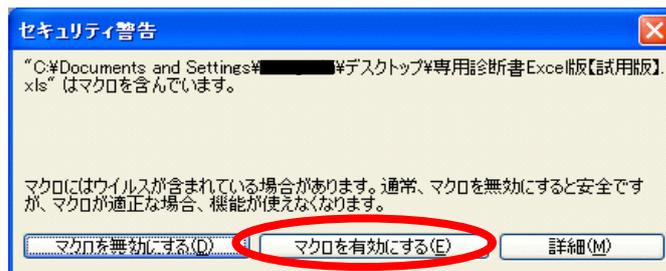


2. [セキュリティ] ダイアログの [セキュリティ レベル] で [中] をクリックします。



3. 診断書 Excel 版を含め、現在コンピュータ上で実行中の Excel ファイルをすべて閉じます。
(編集中的数据がある場合は、必要に応じ保存してから閉じてください)

4. 再度、診断書 Excel 版ファイルを開き、マクロを有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されたら、[マクロを有効にする] をクリックします。



5. 以上で設定完了です。診断書の作成を進めてください。

【3】マクロを使用できない場合・使用しない場合

ご使用のコンピュータの環境によっては、マクロの機能を利用できない場合がございます。あるいはウイルス対策等、ご利用者様のご都合によってセキュリティレベルの変更を行うことができない場合等も、マクロの機能を利用できない場合がございます。

以下のような場合、マクロが有効に動作しないことがあります。

- (例)
- ・ Excel 2008 for Mac 等、VBA が搭載されていない Excel をご使用の場合
 - ・ OS (Operating System) が Microsoft Windows 以外の場合
 - ・ その他、Excel のバージョン等の要因による場合、等

この場合、診断書 Excel 版を用いて診断書を作成することは可能ですが、「一括印刷ボタン」等の一部の機能を利用できませんので、以下のとおりご対応願います。

- 診断書作成後の印刷は、表紙を含む全 14 枚を 1 シート毎にすべて行ってください。
(「印刷対象」で「ブック全体」を選択すれば、すべてのシートを印刷することもできます。)
その上で、表紙以降の全 14 枚をホチキス留めしてください。
- 「所見-2」「所見-3」シートにおける「○」や「×」の入力および「検査-2」シートにおける検査年月日の入力については、1 つずつ漏れなく行ってください。